

# 衆議院法務委員会ニュース

平成 26. 2. 21 第 186 回国会第 2 号

2 月 21 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

## 1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

・谷垣法務大臣、岡田内閣府副大臣、奥野法務副大臣、平口法務大臣政務官、上野文部科学大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 安藤 裕君（自民）

- ・法律に規定されていない価値観を多くの人が共有していることが、安心に繋がり、重要な社会の基盤になっていると考える。また、憲法よりも高次の基本価値として「和」があるという意見もあるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・今国会に提出する予定である司法試験法の一部を改正する法律案の趣旨及び内容について、法務副大臣に伺いたい。
- ・最高裁判所が開設している裁判員メンタルヘルスサポート窓口の設置目的及び業務内容を伺いたい。また、これまでに裁判員又は補充裁判員に選任された人数及び同窓口の利用件数について、最高裁判所当局に伺いたい。

### 小島 敏文君（自民）

- ・矯正施設における再犯防止の取組について、これまでのようなことを行ってきたのか、また、新たに行っている取組などがあれば伺いたい。
- ・矯正医官の不足の対策については、法改正が必要な問題もあり、法務大臣がリーダーシップをとって進めていく必要があると考えるが、今後の方針について、法務大臣に伺いたい。
- ・女子刑務所の過剰収容の解消策及び女子刑務所の女性職員の若年化と高離職率の原因、待遇改善の取組について、法務大臣に伺いたい。
- ・PFI 刑務所の成果を踏まえた刑事施設の運営業務についての民間委託の今後の方向性に関し、どのように考えているのか、伺いたい。

### 神山 佐市君（自民）

- ・再犯率の推移及び刑務所出所者に対する就職、住居等の支援策について、どのようなものを講じているのか伺いたい。

- ・更生保護に関する民間ボランティアの状況とこのような団体の役割について、伺いたい。
- ・保護司が保護観察対象者等から受けた物的損害等に対する補償制度が適用された件数及び補償額の引上げの必要について、伺いたい。
- ・協力雇用主に対する優遇措置の内容と更生保護に関する民間団体に対する支援のための平成26年度の予算措置について、伺いたい。
- ・技能実習制度に対する評価及び労働力確保という観点から技能実習生を受け入れることについて、法務大臣の見解を伺いたい。

### 遠山 清彦君（公明）

- ・再犯率を下げるため、我が国においても米国の民間機関「ディランシー・ストリート財団」における取組のように、矯正施設以外で受刑者の予備的な受入れや社会復帰支援を民間団体に行わせることについて、法務副大臣の見解を伺いたい。
- ・協力雇用主の登録数、実際に雇用している企業数、雇用されている者の数及びこれらの過去5年間における増加数について、伺いたい。
- ・協力雇用主の登録数は約1万1千社であるのに対し、刑務所出所者等を実際に雇用している雇用主数は約380社と、3%程度にすぎない原因について、伺いたい。
- ・3年以内に協力雇用主の登録数の約1割が実際に刑務所出所者等を雇用するようになることを政府は目標とすべきと考えるが、法務大臣の決意を伺いたい。

### 階 猛君（民主）

- ・証人テストにおいて、検察官の問いに対する証人の答えまで記載したものを作成して証人に渡すことが実務上行われているのか否かについて、伺いたい。
- ・刑事司法への信頼性を担保するため、取調べの可視化だけではなく、証人テストの可視化導入についても法

制審議会における議論の対象とする必要があると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・集団的自衛権の解釈を首相の考えにより変更することは「法の支配」の観点から好ましくないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・仮釈放の期間について、再犯の危険性を標準として仮釈放の期間を定め、その間保護観察に付する「考試期間主義」を採用することや、一定期間の懲役刑又は禁錮刑とその後の一定期間の保護観察の両方を言い渡すことを可能とする「分割刑制度」を導入することについて、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・刑事罰としての罰金の一部を性犯罪被害者のためのワンストップ支援センターの設置等の性犯罪被害に対する施策に充てることを検討する必要があると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 西 田 讓君（維新）

- ・法の支配について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・裁判員制度の導入により法の支配が揺らぐことになるのではないかと懸念を持ったが、裁判員制度と法の支配の理念との関係について伺いたい。
- ・カウンターインテリジェンス（情報防衛、防諜）について、具体的にどのような取組を行っているのか、伺いたい。
- ・法務大臣の所信で述べられている北朝鮮関係及び尖閣諸島関係に限らず、ロシア関係の情報収集・分析も積極的に行う必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- ・難民認定について、申請件数が増加しているのに対し認定等の件数が非常に少ないが、現状をどのように分析し、どのように対応していこうとするのか、伺いたい。

### 高 橋 み ほ君（維新）

- ・文部科学省が行っている法教育への取組及びその内容について、文部科学大臣政務官に伺いたい。
- ・法教育への取組の充実・拡大、京都法教育推進プロジェクトのような活動の促進を図る必要性について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・子どものいじめ問題に対する啓発活動及び広報の予算をテレビコマーシャルに使うことは効果がないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・法テラスの情報提供業務を存続させることより、刑務官及び矯正医官を増やすことに予算を使うべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 椎 名 毅君（結い）

- ・接見室のない地検支部において、立会人のいる面会面接が行われているが、このような運用と秘密交通権との関係について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・今国会に提出されている少年法の一部改正案により、検察官関与制度の対象事件が拡大されることについて、職権主義による少年審判が証拠法則の適用のないまま対審構造化して、不健全な状況が生じるのではないかと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・韓国では、我が国の外国人技能実習制度と同様の制度である修習制度を廃止して雇用許可制度に一本化しており、外国人単純労働者の受入れについては、このような事例も踏まえて検討すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 鈴木 貴子君（無）

- ・証人テストにおいて、証人に対する質問及びその回答メモを証人に渡すという行為は、「検察の理念」に反するものではないのか、見解を伺いたい。
- ・一般論でいうと、証人に対し、質問及びその回答メモを渡すという行為は、誘導尋問に当たるのではないかと、見解を伺いたい。
- ・証人テストに関するこれまでの質疑を通じた感想と、今後のどのような対策を採るつもりなのかについて、法務大臣の見解を伺いたい。